

静岡県内事業場の全面禁煙 に向けた 実態・課題の調査と支援

<研究代表者>	静岡産保C	所長	鎌田 隆
<研究分担者>	静岡産保C	相談員	足立留美子
		相談員	倉田千弘
		特別相談員	住吉健一
<共同研究者>			
ヤマハ(株)健康管理センター		産業医	上原明彦
矢崎総業(株)		統括産業医	大久保浩司
浜松医科大学健康社会医学講座		教授	尾島俊之
ヤマハ(株)健康管理センター		産業医	小田切圭一
日立アプライアンス(株)清水事業所		産業医	杉 敏彦
ヤマハ(株)健康管理センター		産業医	山本 誠

明らかにしたい点

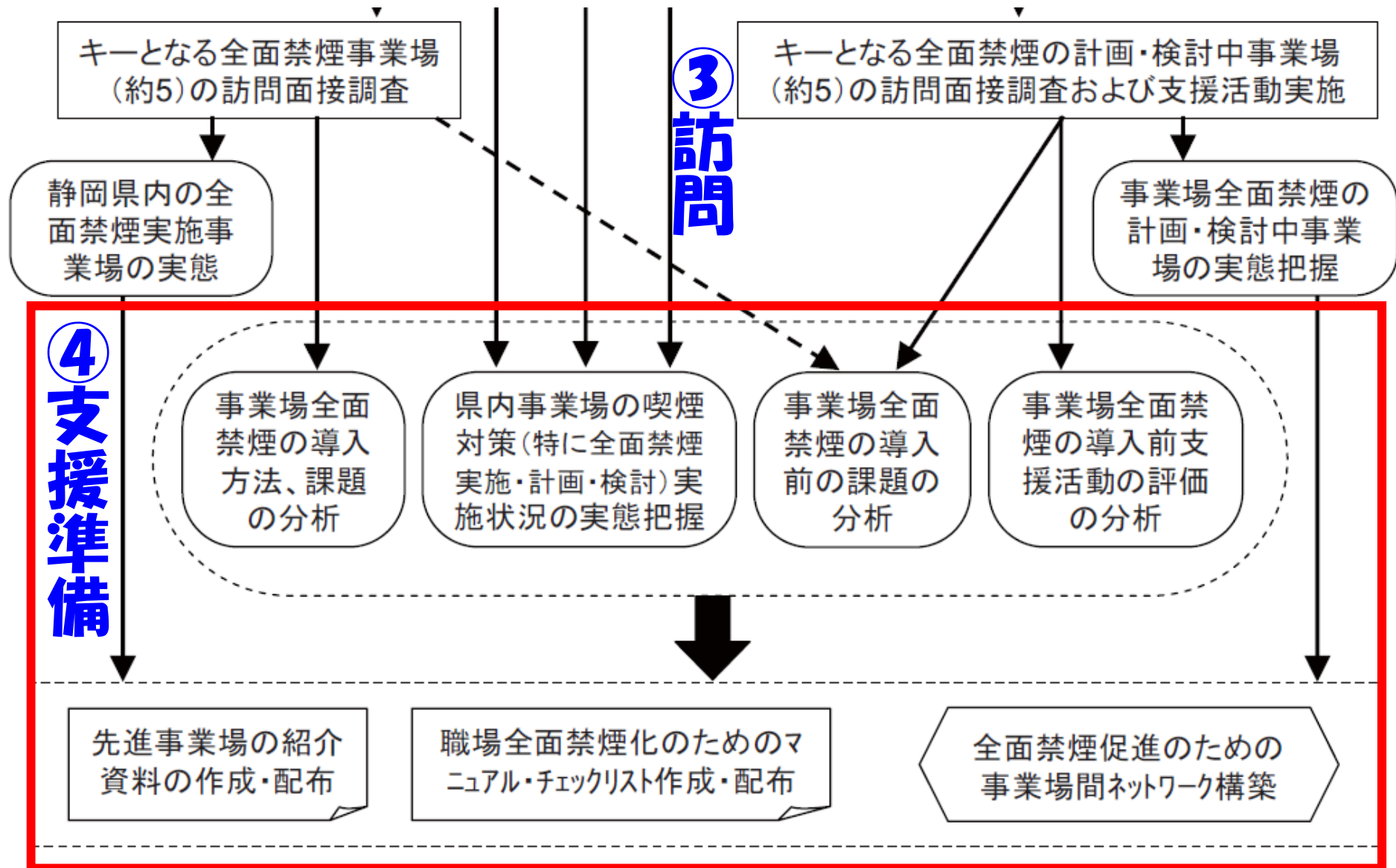
- ① 静岡県内事業場の**喫煙対策実施状況**、特に**全面禁煙**を実施、計画、または、検討している事業場の状況
- ② 全面禁煙を**実施**している事業場における**全面禁煙導入の方法**と**導入前後の課題**
- ③ 全面禁煙導入を**計画・検討**している事業場における導入計画時及び導入前の状況と課題
- ④ 全面禁煙導入前の事業場に対して産業保健推進センターが行える**支援活動方法**を構築するための情報

喫煙対策
状況調査

事業場全面禁煙化の推進
対策の遅れた事業場の啓発

地域の全面
禁煙の推進

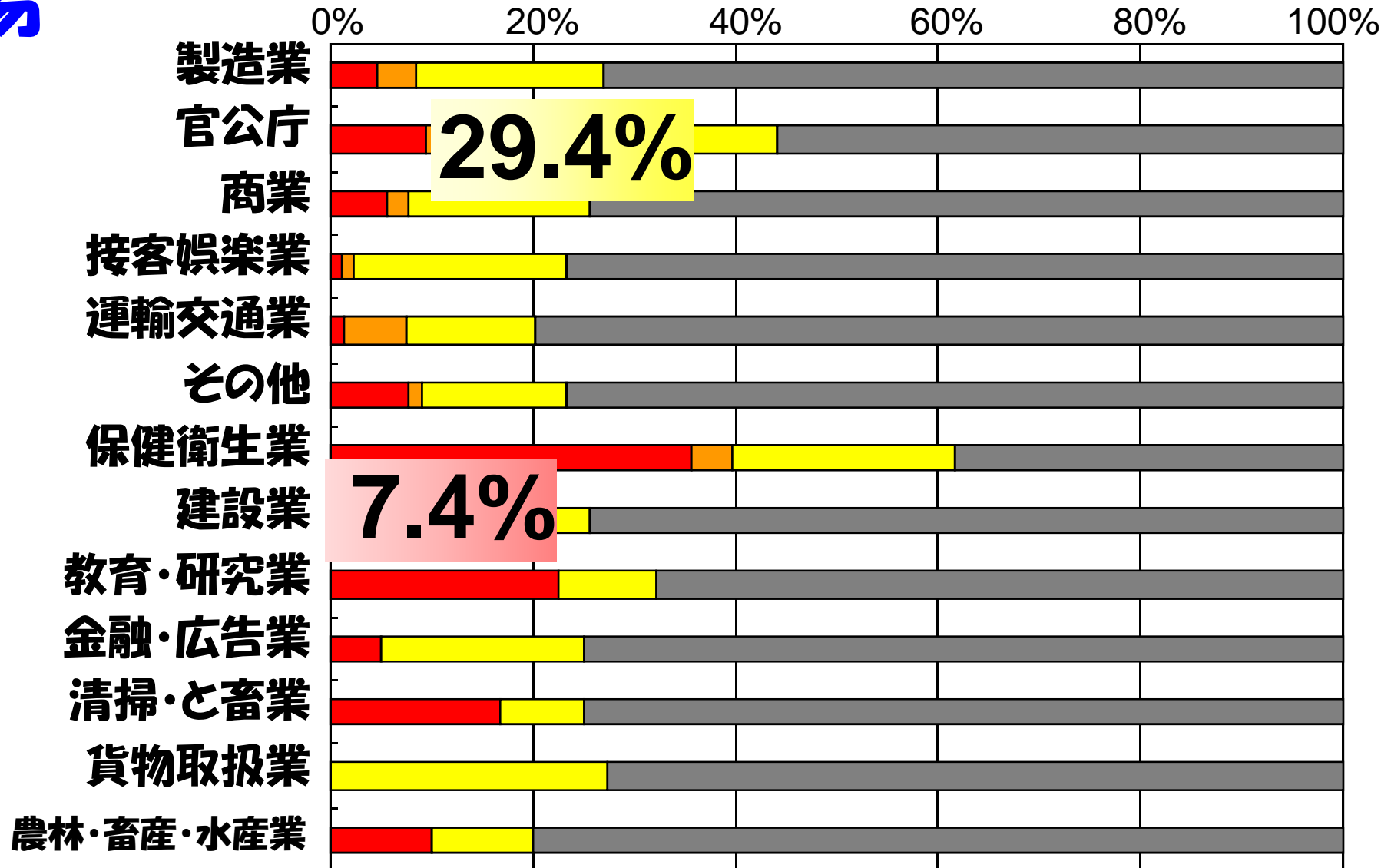
調査実施の計画フロー 結果



①
簡易

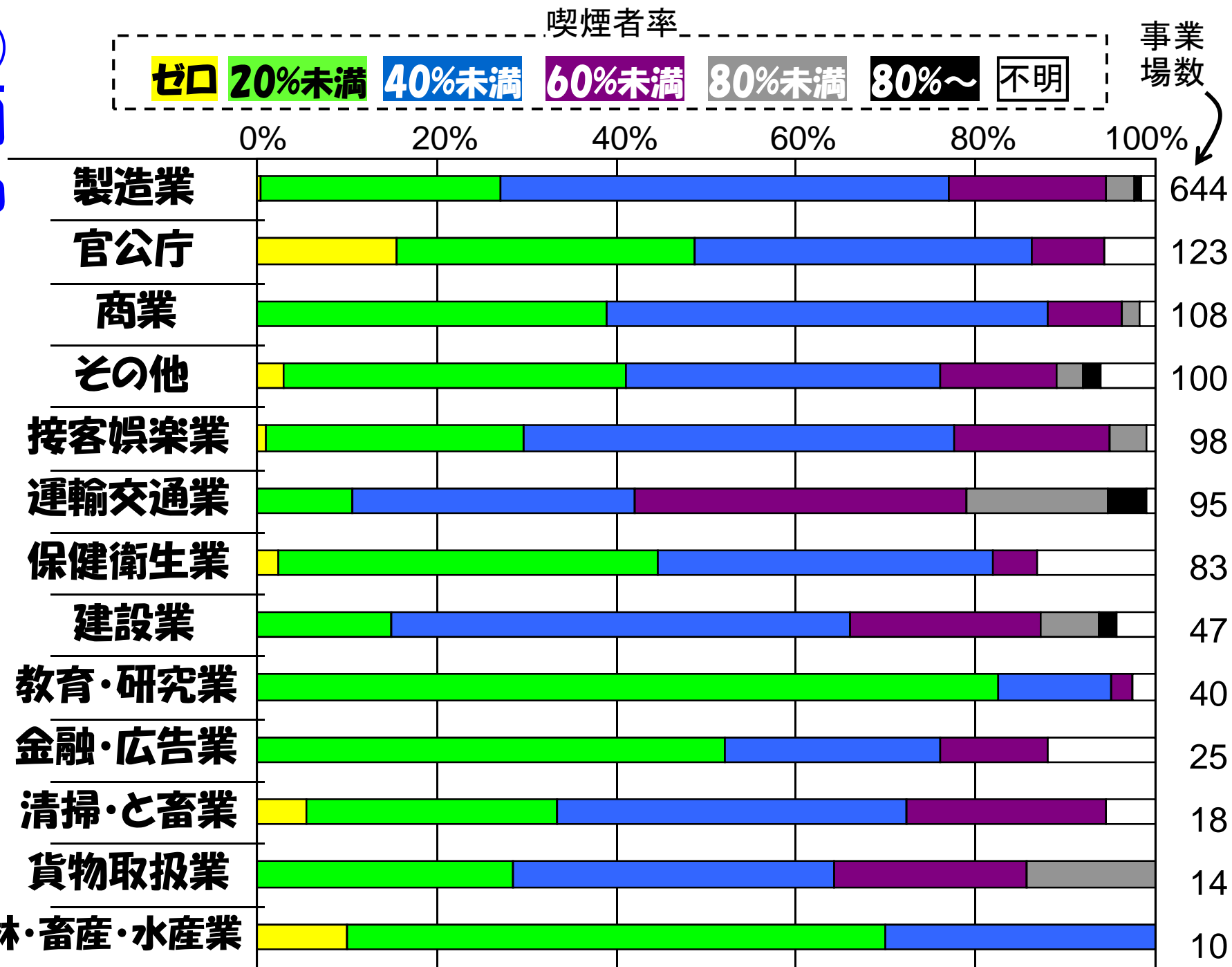
敷地内全面禁煙

実施済み 計画中 検討したい 予定はない



①簡易

業種別の喫煙者率



①
簡易

敷地内全面禁煙

実施済み 計画中 検討したい 予定はない

事業場数



27

370

520

190

48

11

28

喫煙者率

ゼロ

<20%

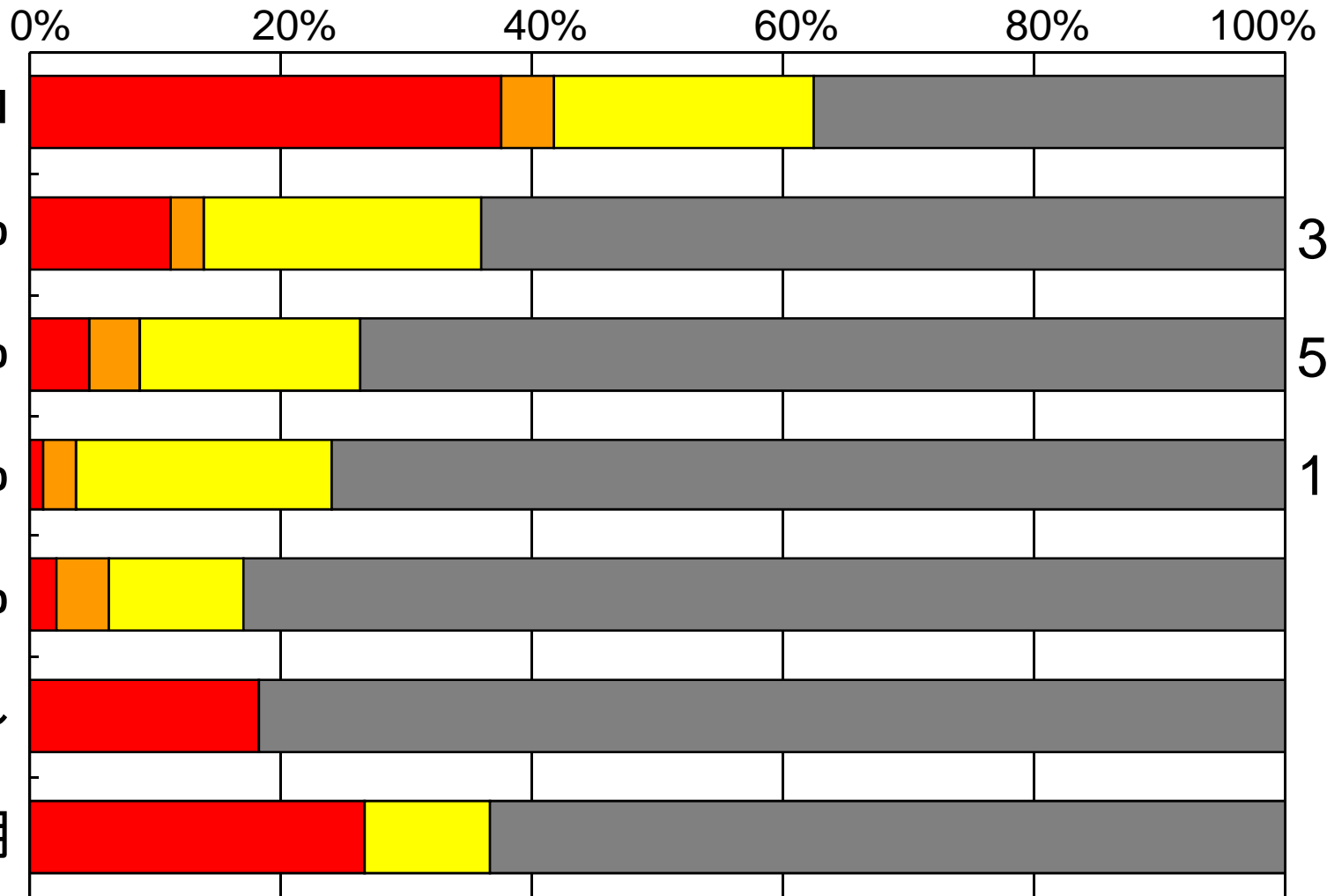
<40%

<60%

<80%

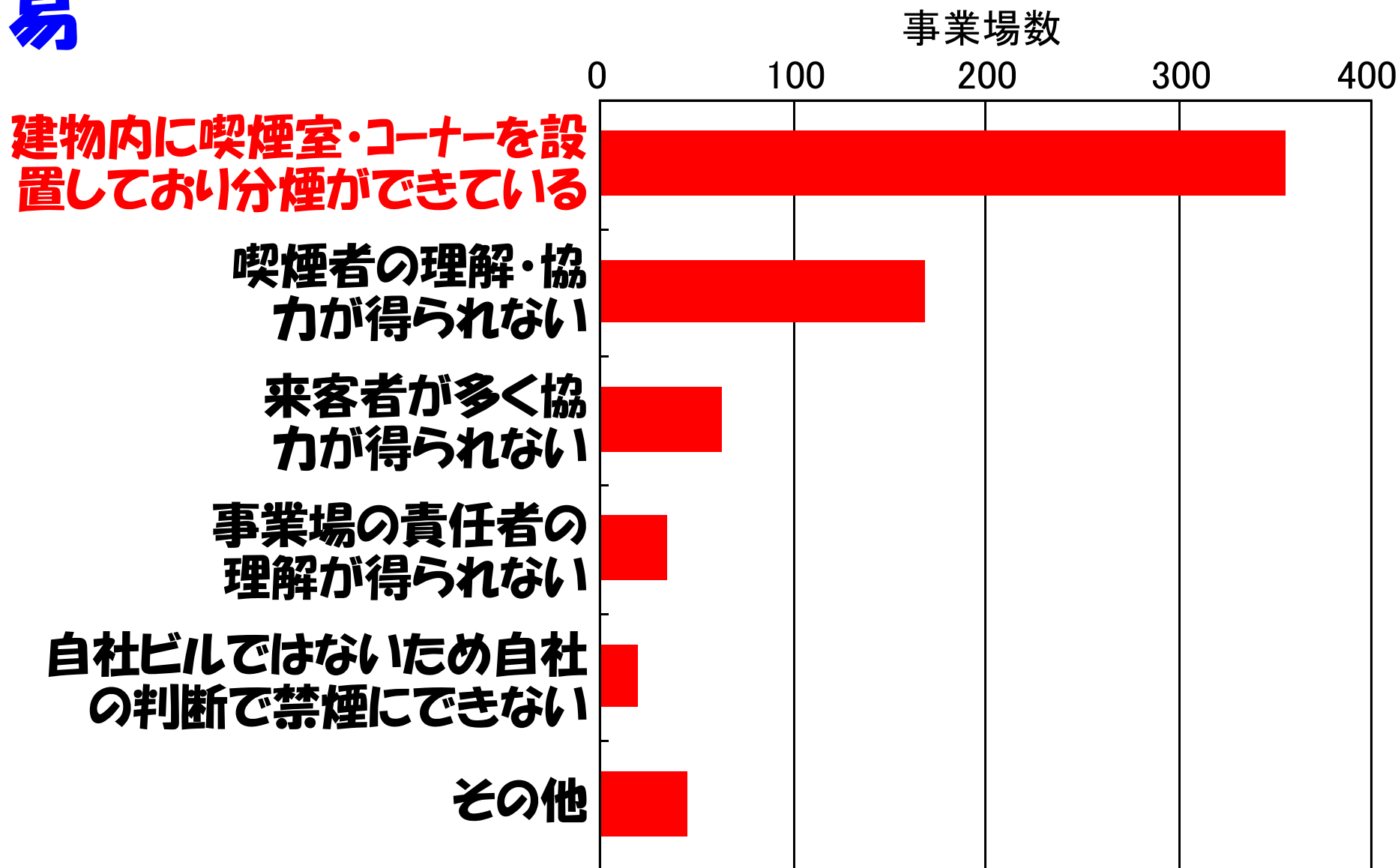
80%~

不明



①
簡易

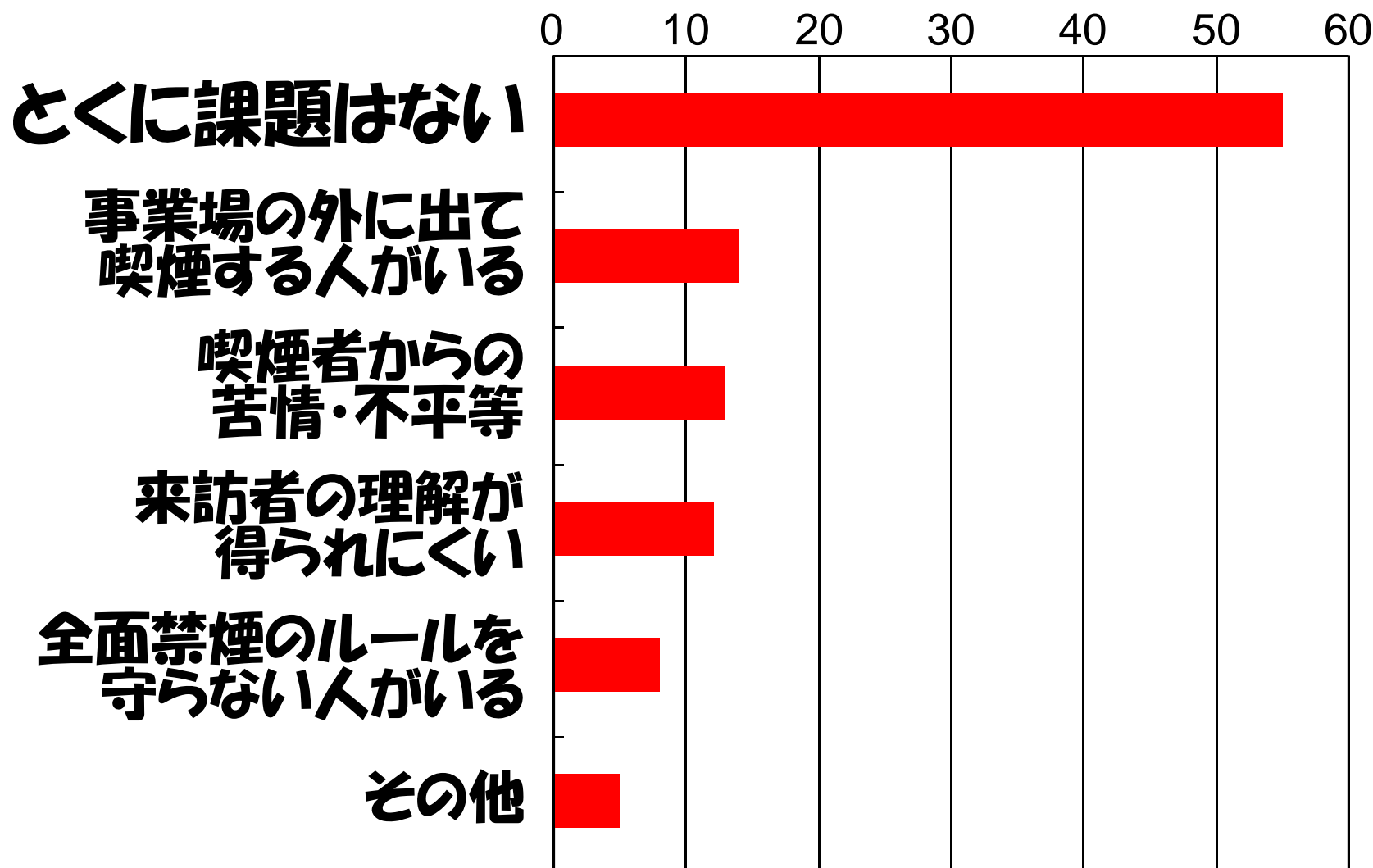
「建物内・敷地内全面禁煙ともに予定はない
532事業場での建物内を**全面禁煙にできない理由**



②
詳細

敷地内もしくはは建物内が全面禁煙である
と答えた104事業場における
全面禁煙実施時に対策を要した課題

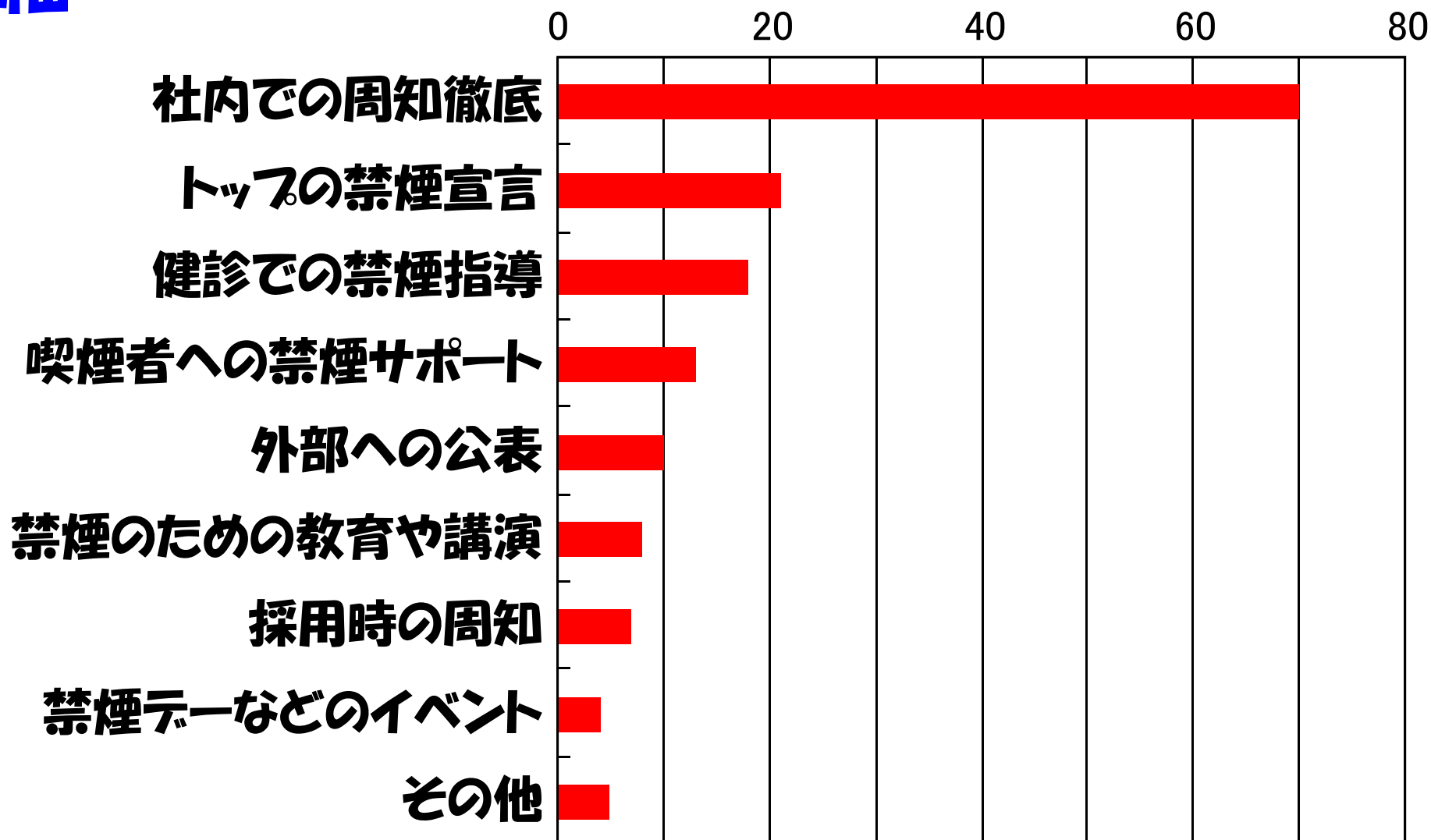
事業場数



②
詳細

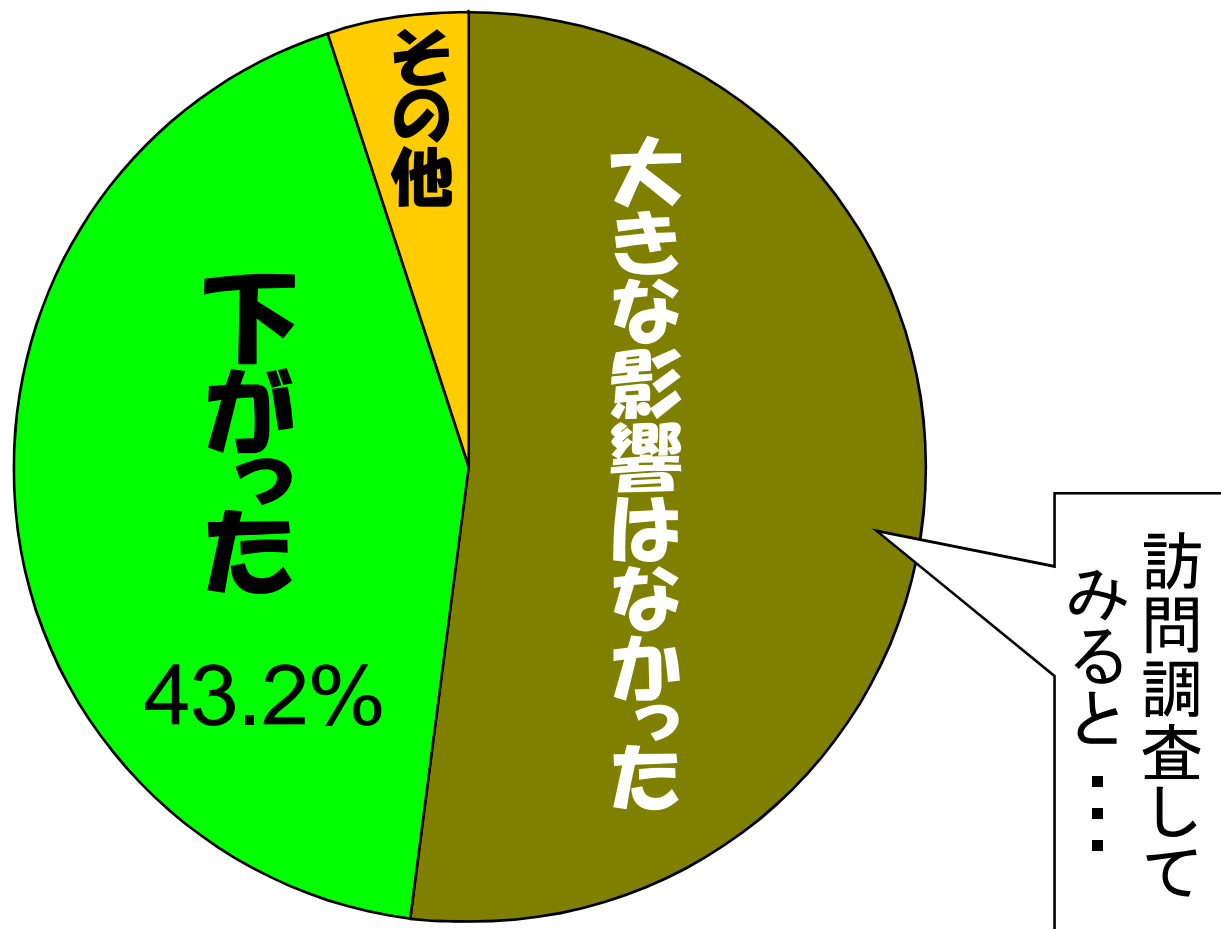
全面禁煙導入に併せて 特に取り組んだ内容は？

事業場数



② 詳細

敷地内もしくはは建物内が全面禁煙であると答えた104事業場における喫煙者率に対する全面禁煙の影響



② 詳細

意見・質問への記入内容

現在の責任者は愛煙家のため、・・・
社長が喫煙者であるので、・・・

団体で社員旅行する時もバス内は禁煙としたいが、
どのように進めたら良いか？

喫煙の害についてもっと強く啓発したいが
どのような方法があるか？

他事業場の禁煙状況が分からない為、
当方の取り組むべき課題が分かりにくい。

**全面禁煙は思いきってやれば意外とスムーズに行くので
「思いきってやってみられたら」とおすすすめしたい。**

3 訪問

丸尾興商株式会社



当時、社内の妊婦さんから「**職場での受動喫煙で自分も苦しいし、お腹の子供のことが心配**」と相談された**社長が即決**で建屋内全面禁煙を決めました。

喫煙所は事務所の玄関手前にひとつだけ。みんなに見える場所だから、喫煙している従業員は他の従業員から「あいつはサボっている」と思われて、吸いにくい環境(=受動喫煙、衣服煙を避ける環境)になっています。

禁煙した上司が、喫煙をしている部下に禁煙を諭す良い循環が回っています。

建屋内全面禁煙によって、喫煙率は大きく低下し、現在では、女性0%、男性27%で、全体では13.4%。

③ 訪問

先進事業場訪問面接調査
から得られたポイント

- ✓ トップダウンによる推進
- ✓ 非喫煙者の受動喫煙への不寛容
- ✓ 集団と個人への全面禁煙の周知徹底
- ✓ お客様にも周知・説明
- ✓ 喫煙による健康障害についての啓発
- ✓ 禁煙の文化・風土
- ✓ 綺麗な職場を作るために
- ✓ 業務効率化や生産性向上のために
- ✓ 製品やサービスの質向上のために
- ✓ 禁煙外来紹介を含めた禁煙サポート
- ✓ 禁煙サポートとしての全面禁煙

職場全面禁煙化のためのチェックリスト(案)

A

職場・事業所の体制の整備

5	経営層は禁煙の意識が高いでしょうか	はい	働く仲間を守るという全面禁煙の目的を労働組合(または従業員の代表者)とも共有しながら、トップダウンで一気に全面禁煙を推進することが大切です
		いいえ	自身と従業員の健康や事業の生産性を守るために禁煙が重要な課題であることを、経営層にも理解してもらいましょう
6	喫煙者のマナーは十分ですか	はい	喫煙者は喫煙マナーの不十分さに気付かず、非喫煙者も無意識に容認しがちです。全面禁煙を進める契機として、非喫煙者の声はとても重要です
		いいえ	空間分煙*では、喫煙所(の換気扇)から漏れる煙、衣服の残留煙*、吐く息の呼出煙*などによって受動喫煙が生じます
7	安全衛生委員会*などで喫煙対策について討議していますか	はい	従業員の健康を守るためには、受動喫煙の防止、すなわち、全面禁煙が欠かせないことを
		いいえ	産業医・看護職などの指導の下、労働者の健康・安全にとって喫煙対策が最重要課題の一つであることを確認し、全面禁煙に向けた議論を始めましょう
8	喫煙対策にかかる費用は大きいと思いますか	はい	空間分煙は(隔離、排煙、清掃、防火など)高額な対策を行っても受動喫煙防止には不十分です。費用のかからない手段としても全面禁煙を目指しましょう
		いいえ	厚労省ガイドライン*に沿った空間分煙には大きな費用がかかることを、職場や事業所として認識しましょう

C

説明、啓発、連携

2	全面禁煙は敷地周辺での喫煙を増やし、近隣住民から苦情が出そうですか	はい	周辺の吸殻拾いや説明・協力依頼による成功事例の紹介資料等を産業保健推進センターで配布していますので、ご活用ください
		いいえ	全面禁煙導入前に、敷地周辺の喫煙マナーを決めておきましょう。地域によっては路上喫煙禁止の条例がありますので、確認しておきましょう
3	喫煙対策は空間分煙で十分だと思いますか	はい	空間分煙では受動喫煙の害を防ぎ切れないことを知ってください(WHO「たばこ規制枠組条約」第8条に関する「たばこの煙にさらされることからの保護に関するガイドライン」)
		いいえ	職場の非喫煙者を受動喫煙の害から守るために、全面禁煙を進めましょう。さらに、全面禁煙は喫煙者の健康を守ることにもつながります
4	厚生労働省のガイドラインをご存知ですか	はい	活用を図りましょう。ただし、ガイドラインに沿った空間分煙の実施には通常、高額な費用がかかり、(少なくとも建屋内)全面禁煙が現実的です
		いいえ	インターネット(http://www.mhlw.go.jp/houdou/2003/05/h0509-2a.html)等で是非、「職場における喫煙対策のためのガイドライン」(平成15年)をご確認ください
5	禁煙化についてお客様の反対がありますか	はい	全面禁煙は(多数派の)非喫煙のお客様に歓迎され、喫煙のお客様の健康を守ることにもなります。CSR、エコ、安全の観点からもお願いしましょう
		いいえ	自事業場の方針として禁煙化を進めましょう。そして、"全面禁煙"を自社のアピール点としても利用しましょう